

久山中便り

久山中学校

令和8年6月18日発行

第24号

活気ある学校の朝の風景

校内ボランティア

6月15日(月)から、校内ボランティアが始まっています。

心のエリアでの挨拶運動、校門前の清掃活動、書き損じはがきの回収など、生徒会の呼びかけによって進められている活動です。連日、100人を超える参加者によって、朝から活気のある学校になっています。

来週は、試験前ですので、いったんお休みとなりますが、再来週から再開します。

朝早く登校するのは、ご家庭にも負担をおかけしていることだと思えます。保護者の皆様のご協力にも感謝いたします。生徒会が掲げた



「み・ど・り・コミュニケーション」。「り」は、理解ある社会、地域への貢献を目指しています。校内ボランティアが、生徒諸君一人一人の高い意識の下で、地域や町全体へと広まっていくことを期待しています。

命の授業読み聞かせ(三年生)

16日(火)の4時間目には、三年生を対象とした「命の授業」を、読み聞かせの会「らばーく」の皆様を実施していただきました。スライドを使いながら、生命の誕生、命の尊さについて、温かくお話しいただきました。(入念な打ち合わせ手ご準備に感謝します)

生徒の感想です。

「小学校の頃の将来の夢が助産師だったから、

少し知っていたところもあるけど、命の大切さをあらためてわかりました。赤ちゃんを愛情込めて育てないと、亡くなってしまうという話を聞いたとき、もし、子供が生まれたらたくさんさんの愛情を注ごうと思いました。」

「今、私がここにいることは、母さんがちゃんと愛してくれたおかげだということを当た



り前だと思わないこと、そして、しっかり感謝をしていきたいです。」

「赤ちゃんは、10ヶ月間で頭や脳、胃や肝臓など大切な器官をすべてお母さんの栄養から作っていてすごいなと思いました。」

「生まれてくるのが、奇跡なんだなと感じました。」

たった一つの受精卵が分裂を繰り返し、異なる役割を持つ細胞へと分化していくプロセスがそこにはあります。本当に神秘的で、奇跡的に誕生する生命。だからこそ、尊く、かけがえない生命なのです。

「らばーく」の皆様、ありがとうございました。

学校運営協議会・町教委訪問

学校経営方針へのご意見をいただく「学校運営協議会」。子供たちの学習指導の状況等を参観し、指導の在り方にご助言をいただく「町教委訪問」を、今週、行いました。感想です。

・どの授業も雰囲気がよく温かい印象を受けました。若い先生を中心に表情がとても柔らかく、どこか授業を楽しんで進めているようにうかがえました。

・子供たちが落ち着いて学ぶ姿がありました。友達と交流したり、全体の場で意見を述べたりする場があり、互いに学び合う姿が印象的でした。

ご訪問、ありがとうございました。